

みなかみの里の旬な話

みなかみの里特養 介護ロボット編

移乗用 介護ロボット

職員2人の負担が減り、利用者さんの安心が増えました。

Before: 移乗介護は重労働

After: たいへんなところはロボットに!

移乗介護の強い味方!

服薬支援 システム

職員が2人態勢で行っていた服薬介助も、これからはスマホが相棒です。

Before: 職員2人でのダブルチェック

After: 職員1人でOK!

障害物をよけながら自動で掃除します!

お掃除ロボット

見守り支援 システム

みなかみの里では他にも様々な介護ロボットを導入しています。介護職員の負担を少しでも軽減することを、働きやすい職場、長く続けられる職場を目指してまいります。

三十以上の歴史がある施設です。最新の取り組みを目指しています。

睡眠の状態、心拍の状態、呼吸が分かります!

ベッドの下に敷くことで、様々なデータを取得できます

まとめ

みなかみの里

令和5年4月号 No. 115

社会福祉法人 新井頭南福祉会 特別養護老人ホーム みなかみの里

〒944-0025 新潟県妙高市大字上新保549番地 TEL:0255-73-7733 FAX:0255-72-9785

みなかみの里

令和5年4月号 No. 115



表紙 桜満開! 笑顔満開! 春が来た!

P2・P3 令和5年度 みなかみの里 事業計画

P4 みなかみの里の旬な話

基本理念 心温かな介護を通じ、生きる喜びと感動あふれる地域づくりを目指します!

1、人と地域を愛します 2、確かな介護を提供します 3、開かれた施設を目指します

社会福祉法人 新井頭南福祉会

特別養護老人ホーム みなかみの里
新潟県妙高市大字上新保549番地
TEL:0255-73-7733 FAX:0255-72-9785

ケアハートみなかみ(ショートステイ)
新潟県妙高市大字上新保554番地1
TEL:0255-72-7756 FAX:0255-72-7854

みなかみの里ディ・サービスセンター
新潟県妙高市大字上新保549番地
TEL:0255-70-6688 FAX:0255-72-7308

みなかみの里在宅介護支援センター
新潟県妙高市大字上新保554番地1
TEL:0255-72-7321 FAX:0255-72-7308

URL: <http://www.araikeinanfukushikai.or.jp>

寄付金品 (令和五年一月〜令和五年三月)

匿名 名様(オムツ 他)

ボランティア活動 (令和五年一月〜令和五年三月)

新型コロナウイルス感染症感染予防の観点からボランティア活動受け入れは中止しております。今後の受け入れ再開時にはよろしくお願いいたします。

苦情報告 (令和五年一月〜令和五年三月)

苦情受付0件

各事業所に苦情相談担当がおります。遠慮なくご意見をお寄せください。今後もサービスの向上に努めてまいります。

みなかみの里の地域の皆様に支えられて、みなかみの里のご利用者の生活が守られています。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い致します。

令和5年度 みなかみの里 事業計画

基本方針

- まちづくりの視点での地域包括ケアの実現のため、職員の理解と他関係機関との連携を深める取組みを行うとともに、地域の支え合いの拠点として活動を強化します。
- 地域に開かれた施設運営のため、感染症対策を行いつつ、家族・ボランティア・地域とつながるための活動や地域防災拠点等の公益的な取組みを進めます。

- 人材育成と働きがいのある職場づくりのため、介護ロボットの導入を進めることで、業務の効率化を図るとともに、職員それぞれの意欲や目標、専門性を高めるための取組みを行います。
- 自立と尊厳を支える質の高いケアの提供のため、機能訓練を軸とした多職種連携によるトータルサービスの提供や重度化への対応力の向上を目指します。

特別養護老人ホーム

①多職種協働による、利用者本位の確かな介護の提供

- ・入院の原因となる疾病を分析し、対策を行うことで、安心して過ごしていただける環境を作ります。
- ・皮膚トラブル・尿路感染防止のための排泄ケアに取り組みます。
- ・脱水予防、肺炎予防に関して積極的に取り組みます。

②感染症対策に基づいた家族や地域とのつながり方の検討と実践

- ・ボランティアや地域との交流について、感染予防に配慮しつつ実施します。
- ・広報誌やブログを充実させ、積極的な情報発信に取り組みます。

③ICT技術・介護ロボットを活用した科学的介護の推進

- ・オンライン研修を充実させることで時間の効率化を図り、働きやすい環境を作ります。



新たな介護ロボットの導入を目指し、日々勉強しています！



動画研修の充実により、スキルアップはもちろん、働きやすい環境を目指しています。

ショートステイ

①ICT利活用で多職種連携強化によるサービスの向上

- ・新コールシステムの使用で巡回業務の効率化に取り組みます。
- ・記録システムやケアプランデータ連携システムを活用し、多職種間の連携強化に取り組みます。

②感染症対策と業務継続の実効性を確保し、安全なサービスを提供

- ・感染対応シュミレーション訓練を年2回以上実施します。
- ・感染対応実践を取りまとめ、より実践的なマニュアルに見直します。

③職員の専門性を高めて確かな介護の提供

- ・不適切なケアを予防・改善し、虐待防止に取り組みます。
- ・姿勢や移乗方法を検討し、自立支援に基づいた介護技術を深めていきます。



システムの利活用や定期的な研修により安心・安全でサービス提供を目指していきます。



デイサービス

①通信技術を活用した科学的介護の推進と業務の効率化

- ・記録システムの活用により、業務の効率化に取り組みます。
- ・ケアプランデータ連携システムを活用し、業務の効率化とその効果測定を行います。

②感染症対策と業務継続の実効性を確保し、安全なサービスを提供

- ・感染症対策の徹底を継続し、利用者の安全確保に取り組みます。
- ・事業継続の実効性を確保するため、感染症や非常災害対策に必要な研修やシミュレーションを行います。

③職員の専門性を高め、確かな介護を提供

- ・計画的な研修により、確かな介護力・専門性を持った職員育成に取り組みます。
- ・科学的根拠や実践効果が認められた質の高い認知症ケアを行います。



感染対策を徹底して行い、安全・安心なサービス提供に努めます。



居宅介護

①質の高いケアマネジメントの提供

- ・職員の資質向上に向け、個別の研修計画に基づいた研修を実施します。
- ・事例検討を行い、外部研修にも積極的に参加し実践に役立てます。

②多職種や地域とのネットワーク強化

- ・医療機関や介護サービス事業所との連携を図ります。
- ・地域の力を最大限活用できるよう顔の見える関係づくりを目指します。

③ケアプランデータ連携システムの活用

- ・ケアプランデータ連携システムを導入し、多職種間との連携強化と業務効率化を推進します。

④身近な相談窓口としての機能強化

- ・在宅介護の入り口として、また、地域の身近な相談窓口として、多くの方に気軽にご利用いただけるよう事業所のPR活動を行います。



定期的に勉強会を開催し、スキル向上に取り組んでいます。



在宅介護に関するご相談はおまかせください！